

## 昭和5年～昭和25年の間（昭和15～20年間を除く）

「戦前戦後の食糧事情」経済安定本部民政局編 昭和27年1月

### 1. 年度別食料需給表

#### 共通事項

1. 各項目とも現在の領土を基準とした。沖縄、樺太も可能な限り除外した。
2. E. C. A物資（朝鮮むけ物資）についてはそのまま輸入、輸出に計上した。
3. 各項目中その数量極めて「微量のもの」は「0」，「皆無のもの」は「—」，資料なきものは「☆」とした。
4. 在庫の増減量は前年繰越と翌年持越の差引を計上し，前年繰越が翌年持越より大なる場合は（△），小なる場合は（+）とした。
5. 1人当たり供給量算出のために使用した人口は次の通りである。

昭和5年63,872千人	10年68,662千人	21年76,155千人
6 64,820	11 69,690	22 78,101
7 65,800	12 70,360	23 79,994
8 66,790	13 70,590	24 81,769
9 67,680	14 70,930	25 83,196